

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん ぐんまこうきょうがくだん 公益財団法人 群馬交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 山本一太		
制作団体所在地	〒 370-0841		
	群馬県高崎市栄町9番1号		
電話番号	027-322-4316	FAX番号	027-322-4943
ふりがな 公演団体名	ぐんまこうきょうがくだん 群馬交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 山本一太		
公演団体所在地	〒 370-0841		
	群馬県高崎市栄町9番1号		
制作団体 設立年月	昭和20年11月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 山本一太(群馬県知事) 副理事長 富岡賢治(高崎市市長)他4名 専務理事 藪原博	団体構成員 別紙「役員名簿」「評議員名簿」「楽団員名簿」参照 加入条件等 理事及び監事は、評議員会において選任する。 評議員は、評議員会において選任する。	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	小林和広
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	代田英敏(総務課長)R3.8現在

<p>制作団体沿革</p>	<p>1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2020年度までに延べ642万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1982年からは高校音楽教室が開催されるなど、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。</p> <p>1981年からは群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994年には「ブラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。</p> <p>2003年にはNHKテレビ番組「プロジェクトX～挑戦者たち～」で楽団の草創期が紹介され、2004年には天皇后両陛下、デンマーク女王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催した。2014年6月には定期演奏会が500回に達した。</p> <p>群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開しており、2020年に創立75周年を迎えた。また、2019年9月に開館した「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、小林研一郎ミュージック・アドバイザーのもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。</p> <p>1966年「朝日・明るい社会賞」、1983年文部大臣「地域文化功労者」団体表彰、1989年 第11回山本有三記念「郷土文化賞」、1994年「日本文化デザイン賞」、1995年「第4回日本生活文化大賞特別賞」、2001年 日本放送協会「関東甲信越 地域放送文化賞」受賞、2017年県民芸術祭40周年記念表彰。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>小中移動音楽教室 高校音楽教室</p>	<p>令和2年度実績 1日 2公演 20日 25公演</p>	<p>令和元年度実績 32日 58公演 22日 24公演</p>	<p>平成30年度実績 42日 76公演 22日 24公演</p>
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>上記移動音楽教室に合同で参加した過去3年度分の実績 令和2年度 1校6人 令和元年度 4校93人 平成30年度 5校108人</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p>	<p>有</p>	
		<p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
		<p>※公開資料有の場合URL</p>		
		<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
			<p>PW:</p>	
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p>		
		<p>※公開資料有の場合URL</p>		
		<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
			<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 群馬交響楽団】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生		
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)				
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)				
企画名	オーケストラの魅力大発見！一緒に歌おう・奏でよう！！					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1.ロッシェニ/歌劇《ウィリアム・テル》序曲から「スイス軍の行進」 2.シュトラウスⅡ世/ワルツ《春の声》作品410 3.大橋昇一/《草津節》の主題による楽器紹介曲 4.選択コーナー ※a～dより1つ選択 a・指揮者体験コーナー フラームス/ハンガリー舞曲 第5番 から b・一緒に歌おう(下記の中から1曲選択) 「となりのトトロ」から さんば/子どもの世界/大きな古時計/夏の思い出/翼をください/ヒリープ/パブリカ c・合奏(吹奏楽部等による共演例) 校歌 スーザ/星条旗よ永遠なれ シベリウス/交響詩《フィンランディア》 シュトラウスⅡ世/トリッチ・トラッチ・ポルカ(吹奏楽編曲) フォーレ/《ドリー》組曲より「子守歌」「ミ・ア・ウ」「スペインの踊り」(吹奏楽編曲) d・合唱(合唱部等との共演は、希望校毎に調整。ただしオーケストラ楽譜のある楽曲に限る)</p> <p>5.校歌 6.フラームス/ハンガリー舞曲 第5番 7.アンダーソン/プリंक・プランク・ブルック 8.ベートーヴェン/交響曲 第5番「運命」から 第1楽章 9.マスケーニ/歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》から「間奏曲」 10.ピゼー/《アルルの女》第2組曲 から「ファランドール」 11.enc. シュトラウスⅠ世/ラテツキー行進曲</p> <p>※4.の選択コーナーでaを選んだ場合、4～6.の曲順は、6→4→5.の順に入れ替わります。</p>					
著作権	<input checked="" type="radio"/>	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	<p>耳馴染みのあるクラシックの名曲の数々を、ダイナミックなオーケストラで聴いていただくプログラムです。オーケストラでクラシック音楽を聴いたと言う充実した音楽鑑賞の機会になるように企画しております。楽曲のストーリーや成り立ち、作曲者の生涯や作曲した経緯を、司会者や指揮者自ら解説のおはなしを交えながら解りやすく進めたいと思います。初めてオーケストラを聴く子どもたちに、生演奏から生み出される様々な表情や情景、おもしろさ、楽しさ、そして一緒に共演する事の喜びを実感していただける内容です。</p> <p>選択コーナー：校種及び生徒の態様に応じ、指揮者体験・全校合唱・合奏・合唱からの選択が可能です。</p>					
演目選択理由	<p>初めてクラシックを聴く児童・生徒にもオーケストラの魅力を感じていただけるように、一度は耳にしたことのあるような名曲を取り混ぜて、クラシック音楽・オーケストラを好きになっていただけるような選曲をしています。特に「草津節の主題による楽器紹介曲」は、群馬県の特徴を生かした生の音楽を全国の子供たちに届けたいとの思いで、有名な地元民謡の一つである「草津節」をモチーフにした作品を委嘱しました。オーケストラの楽譜を分かりやすく、そして楽しみながら知識を深める事ができるよう、様々なリズムでのセクションごとのアンサンブル演奏とおはなし、手拍子での参加を交えながら聴くことができます。演目全体を通しては、様々なリズムやテンポの特徴ある作品を取り入れることで、オーケストラの楽しさ・雄大さを実感していただき、子供の豊かな感性の向上と情操の涵養をはかれるよう考えております。</p>					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>対象校の全校児童・生徒に、校歌をオーケストラ伴奏で歌って参加して頂きます。吹奏楽部の参加希望がある場合は、オーケストラの中に入れてもらい一緒に演奏して頂きます。また、プログラム中に手拍子で参加してもらおう箇所を設けておりますので、より一層一体感を感じて演奏会に参加できます。</p>					
出演者	<p>指揮：鈴木織衛、大井剛史、中田延亮、林直之、和田一樹 司会：鈴木美知瑠、藤尾久美子、和田美菜子 管弦楽：群馬交響楽団（2管10型）</p>					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 60 名 スタッフ： 7 名 合計： 67 名	機材等 運搬方法	積載量： 4 t 車長： 9 m 台数： 1 台			

【公演団体名 群馬交響楽団 】

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間	2	時間程度	
	【A】午前中体育館でリハーサルをする場合 【B】午前中体育館でリハーサルをしない場合					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	【A】8:00頃	8:00～10:00/リハ 10:30～12:45	14:00～15:20	無	15:30～16:30	17:00
	【B】10:00頃	10:00～12:00	13:30～14:50		15:00～16:00	16:30
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		対象校全学年対象			
	本公演		体育館の広さにもよるが、500名程度が上限 ※通常の情勢下における人数			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>【基本】 演奏会当日の鑑賞がより充実するよう鑑賞のポイントをレクチャーするとともに、演奏者及びオーケストラが身近に感じられるようミニ演奏会を開催。また、楽器に触れて頂き、音が出る所までを演奏者が直接指導する。</p> <p>〔状況に応じて〕 ア 吹奏楽等との共演を選択の場合 楽団員数名が同い共演のための演奏指導を行う。また、希望により吹奏楽部員への楽器セミナーを行う。(実際の共演の実情を勘案し指揮者を派遣する場合もある。) イ 合唱部等との共演を選択の場合 楽団員数名とピアノの伴奏者が同い共演のための演奏指導を行う。(実際の共演の実情を勘案し指揮者を派遣する場合もある。)</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	オーケストラの基本である弦楽四重奏や、オーケストラで特徴ある管楽器の音色などを余す所なく堪能できるよう紹介をします。オーケストラを構成する楽器を事前に紹介することによって、「オーケストラとはどんな物か」と興味がわき、本公演がより一層楽しみで充実した機会となるようにします。					
特別支援学校での 実施における工夫点	群馬交響楽団では、年間数校の特別支援学校も含めた音楽教室を実施しております。通常の学校と同様に扱い、平等性を確保できるように心がけております。また、リズム感に関しては、鋭い感性を持った生徒もいることから、リズム感のある曲目を含んだプログラムとなるよう工夫しております。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

	ポジション	氏名	役職等
1	コンサートマスター	伊藤 文乃	コンサートマスター
2	ヴァイオリン	秋葉 美果	首席奏者
3	ヴァイオリン	山本 はづき	首席奏者
4	ヴァイオリン	栗田 則子	
5	ヴァイオリン	高 杉	
6	ヴァイオリン	小松 英都	
7	ヴァイオリン	小宮山 孝	
8	ヴァイオリン	佐野 隆	
9	ヴァイオリン	塩加井 ななみ	
10	ヴァイオリン	竹内 千尋	
11	ヴァイオリン	棚田 敦子	
12	ヴァイオリン	筒井 志帆	
13	ヴァイオリン	西谷 康子	
14	ヴァイオリン	原 美和子	
15	ヴァイオリン	古橋 綾子	
16	ヴァイオリン	松本 花菜	
17	ヴァイオリン	宮澤 直樹	
18	ヴァイオリン	宮澤 豊子	
19	ヴァイオリン	山田 修平	インスペクター
20	ヴァイオラ	池田 美代子	首席奏者
21	ヴァイオラ	渡邊 信一郎	首席奏者
22	ヴァイオラ	植村 貴雄	
23	ヴァイオラ	太田 玲奈	
24	ヴァイオラ	田岡 幸子	
25	ヴァイオラ	戸塚 伊理一	
26	チェロ	長瀬 夏嵐	首席奏者
27	チェロ	栗田 将幸	
28	チェロ	中田 英一郎	
29	チェロ	坂 菜々子	
30	チェロ	ファニー・プサルグ	
31	チェロ	松本 恒瑛	
32	コントラバス	市川 哲郎	首席奏者
33	コントラバス	片倉 宏樹	首席奏者
34	コントラバス	石神 悠	
35	コントラバス	若林 昭	
36	フルート	白水 裕憲	
37	フルート	中條 秀記	首席奏者
38	フルート	パウエル・フォルティン	首席奏者
39	オーボエ	小宮山 美香	
40	オーボエ	渡邊 潤也	首席奏者

	ポジション	氏名	役職等
41	オーボエ	高崎 智久	首席奏者
42	クラリネット	高子 由佳	
43	クラリネット	西川 智也	首席奏者
44	クラリネット	野田 祐介	首席奏者
45	ファゴット	石川 了一	首席奏者
46	ファゴット	奈波 和美	首席奏者
47	ファゴット	西岡 千里	
48	ホルン	関本 隆夫	
49	ホルン	竹村 淳司	首席奏者
50	ホルン	濱地 宗	首席奏者
51	ホルン	向井 正明	インスペクター
52	トランペット	小木 曾 聡	
53	トランペット	太田 恭史	首席奏者
54	トロンボーン	越智 大輔	
55	トロンボーン	棚田 和彦	首席奏者
56	バストロンボーン	石原 左近	
57	チューバ	松下 裕幸	
58	パーカッション	堀川 正彦	
59	パーカッション	三橋 敦	首席奏者
60	パーカッション	山本 貢大	

		氏名	役職等
1	事務局員	藪原 博	専務理事
2	事務局員	渡会 裕之	マネージャー
3	事務局員	松本 佳祝	事務局長
4	事務局員	悴田 和之	次長
5	事務局員	代田 英敏	総務課長
6	事務局員	多胡 尚徳	企画広報課長
7	事務局員	室賀 俊秀	事業課長
8	事務局員	飯間 琢	
9	事務局員	植杉 恵里	
10	事務局員	大畠 しのぶ	
11	事務局員	川村 十朱子	
12	事務局員	小林 和広	
13	事務局員	齋藤 慎也	
14	事務局員	清水 健汰	
15	事務局員	引田 智子	
16	事務局員	深堀 愛香	
17	事務局員	吹田 悦雄	

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B14	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	群馬交響楽団				制作団体名	公益財団法人 群馬交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	5室	条件	指揮者、司会者、コンサートマスター、男性、女性の着替え用である為、カーテンがある部屋が望ましい。				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック	1台	大型バス	3台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック(ロング)					不可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可	
	理由			高価な楽器を扱うため。				/	
	設置階の制限 *			問わない					可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	1.8m		可	
WSIについて	参加可能人数	基本的に全児童・生徒(本公演で鑑賞する児童生徒対象)					可		
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *				可		
	所要時間の目安 単位:分	80分(途中休憩なし)					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			体育館の広さにもよるが、500名程度が上限(※通常の情勢下の場合・オーケストラの配置が確保出来た上で、体育館に収容可能であれば問題ない)					可
	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	20m	奥行	17m	高さ	-	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			必須ではないが物が少ない方が望ましい				可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要			-
	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	楽器本体に日差しが直射する場合は使用			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *			要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			-
		ピアノの事前調律 *			不要				-
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *			格納されていれば可				可
	公演に必要な電源容量			※主幹電源の必要容量				可	
	その他特記事項							応相談	
ワイヤレスマイク2本・演奏者用椅子約100脚が必要となる							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

